

第三章 出発地での観光マーケティング、イメージ調査

首都圏に住む 10 代以上の男女 310 名に、上野・浅草地区への訪問経験の有無と上野・浅草に対するイメージ、普段の日帰りの遊びやショッピングの動向などを聞き取り含むアンケートにより調査した。

1. 調査概要

1-1 調査対象

首都圏在住 10 代以上の男女 310 名（男性 104 名、女性 198 名、無回答 8 名）。

表 3-1 アンケート対象者の年齢内訳

年齢	回答人数	構成比
10～20 歳	45	14.5%
21～25 歳	72	23.2%
26～30 歳	20	6.5%
31～35 歳	29	9.4%
36～40 歳	41	13.2%
41～45 歳	20	6.5%
46～50 歳	23	7.4%
51～55 歳	21	6.8%
56～60 歳	13	4.2%
61～65 歳	6	1.9%
66～70 歳	4	1.3%
71～74 歳	4	1.3%
75 歳以上	4	1.3%
無回答	8	2.6%
合計	310	100.0%

今回のアンケート調査で対象となったのは、「21～25 歳」が 72 名（23.2%）と最も多い。次いで「10～20 歳」45 名（14.5%）、「36～40 歳」41 名（13.2%）となっており、比較的若い層でのサンプルが多い結果である。

（表 3-1）

表 3-2 アンケート対象者の職業内訳

職業	回答数	構成比
会社員・公務員	102	32.9%
自営業	7	2.3%
学生・生徒	100	32.3%
パート・アルバイト	28	9.0%
専業主婦（夫）	52	16.8%
無職	9	2.9%
その他	4	1.3%
無回答	8	2.6%
合計	310	100.0%

これらアンケート対象者の職業の内訳では、「会社員・公務員」が最も多く 102 名（32.9%）、次いで「学生・生徒」の 100 名（32.3%）、「専業主婦（夫）」の 52 名（16.8%）である。

（表 3-2）

表 3-3 アンケート対象者の住まい内訳

住まいの都県	回答人数	構成比
東京都	53	17.1%
神奈川県	14	4.5%
千葉県	56	18.1%
埼玉県	109	35.2%
群馬県	23	7.4%
栃木県	7	2.3%
茨城県	32	10.3%
新潟県	1	0.3%
山梨県	2	0.6%
無回答	13	4.2%
合計	310	100.0%

また、今回のアンケートは首都圏在住者を調査対象としたが、現在、具体的にどこに居住しているかを尋ねたところ、「埼玉県」が109名(35.2%)と最も多く、次いで「千葉県」の56名(18.1%)、「東京都」53名(17.1%)の順である。(表 3-3)

なお、アンケートの調査期間、調査方法は、以下の通りである。

1-2 調査期間

平成 20 年 10 月 1 日から平成 21 年 1 月 31 日

1-3 調査方法

回収率を考慮し調査員による聞き取り調査を中心に調査票を手渡しした。

1-4 調査場所

前回の調査及び、観光ビジョンから、台東区への来訪者主要マーケットを東京の衛星都市圏で 30km から 60 km を日帰り圏と仮定し埼玉県、群馬県、栃木県、千葉県、多摩市、川崎市などで 10 代以上の成人に対し無作為に、聞き取り調査及び調査表の配布を並行して実施した。

1-5 調査項目

上野、浅草地区への訪問経験及びその際の同行者

上野、浅草地区のイメージ

都内の他地区への訪問状況

調査対象者の属性(性別・年齢・職業・住まいなど)

* 実際に使用したアンケートは資料ページに掲載の通りである。

2. アンケート調査の結果と考察

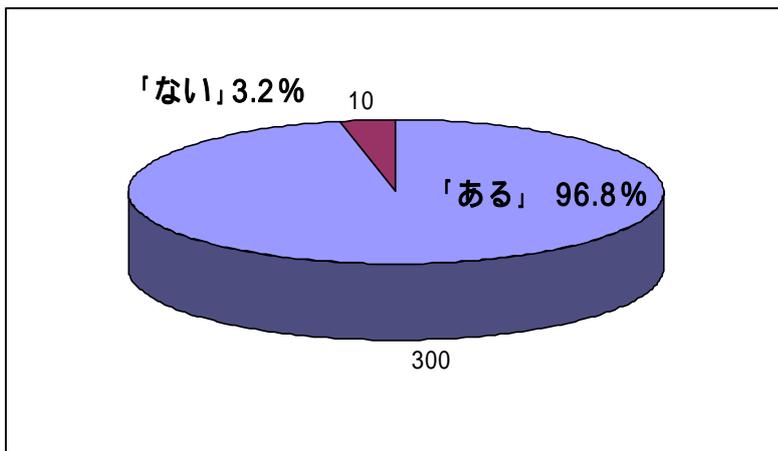
それぞれの質問に対する回答をまとめると、以下のような結果となった。大きくは、上野の来訪経験の有無と、回答者の世代別で回答内容を分類し、分析を行った。

2-1. 上野地区

上野への来訪経験

問1 上野に行ったことがありますか？

図 3-1 上野に行った経験の有無



「上野に行ったことがあるか」を尋ねたところ、「ある」と答えた人が300名で全体の96.8%、「ない」と答えたのは10名で全体の3.2%という結果である。

* 「数十回」と答えた場合は21～30回、「数回」と答えた

場合は2～5回としてカウントした。

(1) 上野の来訪回数(来訪経験が「ある」と答えた回答者への質問)

問1-1 「ある」と答えた場合、今までに何回程度、上野に行ったことがありますか？

表 3-4 これまでに上野に行った回数

上野に行った経験の有無に関する質問で、「ある」と答えた300名に、これまでに上野に行ったことのある回数を尋ねたところ、「2～5回」が88名(29.3%)と最も多く、次いで「6～10回」64名(21.3%)、「100回以上」32名(10.7%)である。

「1回」、「2～5回」を合わせると108名(36.0%)になり、3割以上の人々が上野に行ったことのある経験は5回以下だが、一方で、50回以上の人も34名(11.4%)おり、ハードリピーターも少ないことが分かる(表3-4)。

1回	20人	6.7%
2～5回	88人	29.3%
6～10回	64人	21.3%
11～20回	27人	9.0%
21～30回	18人	6.0%
31～40回	2人	0.7%
41～50回	20人	6.7%
51～60回	2人	0.7%
61～70回	0	0.0%
71～80回	0	0.0%
81～90回	0	0.0%
91～99回	0	0.0%
100回以上	32人	10.7%
無回答	27人	9.0%
合計	300人	100.0%

問 1-1-1 そのうち、この1年間の訪問は何回ですか？

上野に行った経験が「ある」と答えた 300 名にさらに、そのうち、この1年間で上野を訪ねた回数を聞いたところ、「0回」が 91 名（30.3%）で最も多く、次いで、「1回」の 72 名（24.0%）、「2回」49 名（16.3%）となった。こうした結果を見ると、上野に行った経験は 9 割以上の人があるものの、この1年間では全く訪れていないか、1～2 回程度が 7 割以上を占めるということが分かる。

（表 3-5）

表 3-5 1年間の訪問回数

回数	人数	割合
0回	91人	30.3%
1回	72人	24.0%
2回	49人	16.3%
3回	25人	8.3%
4回	8人	2.7%
5回	20人	6.7%
6回	2人	0.7%
7回	4人	1.3%
8回	1人	0.3%
9回	0	0.0%
10回以上	23人	7.7%
無回答	5人	1.7%
合計	300人	100.0%

問 1-1-2 上野を訪ねた主な目的は何ですか？（複数回答）

上野に行った経験が「ある」と答えた回答者に、上野を訪ねた主な目的を複数回答で尋ねたところ、「博物館・テーマパークなど」129 名（28.2%）と「買物」120 名（26.2%）が最も多く、この2つの目的が全体の 6 割近くを占める。次いで「街歩き・散歩」70 名（15.3%）、「食事」47 名（10.3%）という順である（表 3-6）。

また、少数ではあるが「その他」の回答では、修学旅行や列車の待ち時間利用などの回答がある。

表 3-6 上野を訪ねた主な目的

目的	回答数	構成比
博物館・テーマパークなど	129	28.2%
買物	120	26.2%
街歩き・散歩	70	15.3%
食事	47	10.3%
参詣	27	5.9%
祭りやイベントの見学・参加	25	5.5%
仕事	20	4.4%
その他*	8	1.7%
観劇など	4	0.9%
特になし	4	0.9%
一度は行ってみようと思った	2	0.4%
暇つぶし	2	0.4%
合計	458	100.0%

* 修学旅行 3、乗換え・乗継・列車待ち時間 3、知人の家 1、花見 1

これを世代別に見てみると、世代により訪問目的の数に若干の違いが出た。これをまとめると以下のとおりである。

1) 世代別来訪目的 (10~20 歳)

まず、10~20 歳の来訪目的では、「博物館・テーマパークなど」が回答数 20 (35.7%) と最も多く、次いで「買物」13 (23.2%) となった(表 7-1)。回答数で3番目に多かった「その他」には、修学旅行や列車の待ち時間利用、知人の家訪問などがある。

表 3-7-1 上野を訪ねた目的【10~20 歳】

	回答数	割合
博物館・テーマパークなど	20	35.7%
買物	13	23.2%
その他	7	12.5%
街歩き・散歩	4	7.1%
祭りやイベントの見学・参加	4	7.1%
食事	3	5.4%
参詣	2	3.6%
特になし	2	3.6%
仕事	1	1.8%
観劇	0	0.0%
一度は行ってみようと思った	0	0.0%
暇つぶし	0	0.0%
合計	56	

2) 世代別来訪目的 (21~25 歳)

この層でも、最も多かったのは「博物館・テーマパークなど」で回答数 30(28.8%)、次いで「街歩き・散歩」が 21(20.2%)、「買物」20(19.2%)である。

(表 3-7-2)

表 3-7-2 上野を訪ねた目的【21~25 歳】

	回答数	割合
博物館・テーマパークなど	30	28.8%
街歩き・散歩	21	20.2%
買物	20	19.2%
食事	12	11.5%
祭りやイベントの見学・参加	8	7.7%
参詣	5	4.8%
一度は行ってみようと思った	2	1.9%
暇つぶし	2	1.9%
仕事	2	1.9%
特になし	1	1.0%
その他	1	1.0%
観劇	0	0.0%
合計	104	

2) 世代別来訪目的 (26～30 歳)

26～30 歳の層では、「買物」が最も多く、回答数 10(34.5%)、次いで「博物館・テーマパークなど」が回答数 6 (20.7%) である。

(表 3-7-3)

表 3-7-3 上野を訪ねた目的【26～30 歳】

	回答数	割合
買物	10	34.5%
博物館・テーマパークなど	6	20.7%
参詣	4	13.8%
街歩き・散歩	4	13.8%
食事	3	10.3%
祭りやイベントの見学・参加	1	3.4%
仕事	1	3.4%
観劇	0	0.0%
一度は行ってみようと思った	0	0.0%
暇つぶし	0	0.0%
特になし	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	29	

3) 世代別来訪目的 (31～35 歳)

31～35 歳の層でも、「買物」が最も多く、回答数 14(28.0%)、次いで「博物館・テーマパークなど」が回答数 12(24.0%)、「街歩き・散歩」10 (20.0%) である。

(表 3-7-4)

表 3-7-4 上野を訪ねた目的【31～35 歳】

	回答数	割合
買物	14	28.0%
博物館・テーマパークなど	12	24.0%
街歩き・散歩	10	20.0%
食事	8	16.0%
祭りやイベントの見学・参加	3	6.0%
参詣	1	2.0%
観劇	1	2.0%
暇つぶし	1	2.0%
一度は行ってみようと思った	0	0.0%
仕事	0	0.0%
特になし	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	50	

4) 世代別来訪目的 (36~40 歳)

36~40 歳の層でも、「買物」が最も多く、回答数 24(36.4%)、次いで「博物館・テーマパークなど」が回答数 18(27.3%)、「街歩き・散歩」7(10.6%)である。
(表 3-7-5)

表 3-7-5 上野を訪ねた目的【36~40 歳】

	回答数	割合
買物	24	36.4%
博物館・テーマパークなど	18	27.3%
街歩き・散歩	7	10.6%
食事	6	9.1%
仕事	5	7.6%
参詣	4	6.1%
祭りやイベントの見学・参加	1	1.5%
特になし	1	1.5%
観劇	0	0.0%
一度は行ってみようと思った	0	0.0%
暇つぶし	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	66	

5) 世代別来訪目的 (41~45 歳)

41~45 歳の層では、「博物館・テーマパークなど」が回答数 14(45.2%)と最も多く、次いで「買物」7(22.6%)である。(表 3-7-6)

表 3-7-6 上野を訪ねた目的【41~45 歳】

	回答数	割合
博物館・テーマパークなど	14	45.2%
買物	7	22.6%
街歩き・散歩	3	9.7%
仕事	3	9.7%
食事	2	6.5%
参詣	1	3.2%
祭りやイベントの見学・参加	1	3.2%
観劇	0	0.0%
一度は行ってみようと思った	0	0.0%
暇つぶし	0	0.0%
特になし	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	31	

6) 世代別来訪目的 (46~50 歳)

46~50 歳の層でも、「博物館・テーマパークなど」が最も多く、回答数 10(30.3%)と、次いで「買物」8(24.2%)である。(表 3-7-7)

表 3-7-7 上野を訪ねた目的【46~50 歳】

	回答数	割合
博物館・テーマパークなど	10	30.3%
買物	8	24.2%
街歩き・散歩	6	18.2%
参詣	3	9.1%
食事	3	9.1%
祭りやイベントの見学・参加	1	3.0%
観劇	1	3.0%
仕事	1	3.0%
一度は行ってみようと思った	0	0.0%
暇つぶし	0	0.0%
特になし	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	33	

7) 世代別来訪目的 (51～55 歳)

表 3-7-8 上野を訪ねた目的【51～55 歳】

51～55 歳の層でも、「博物館・テーマパークなど」が最も多く、回答数 10 (30.3%) と、次いで「買物」8 (24.2%) である。(表 3-7-8)

	回答数	割合
博物館・テーマパークなど	10	30.3%
買物	8	24.2%
街歩き・散歩	6	18.2%
仕事	3	9.1%
参詣	2	6.1%
食事	2	6.1%
祭りやイベントの見学・参加	2	6.1%
観劇	0	0.0%
一度は行ってみようと思った	0	0.0%
暇つぶし	0	0.0%
特になし	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	33	

8) 世代別来訪目的 (56～60 歳)

表 3-7-9 上野を訪ねた目的【56～60 歳】

56～60 歳の層では、「買物」と「博物館・テーマパークなど」が最も多く、どちらも回答数 5(29.4%)、次いで「食事」3 (17.6%) である。(表 3-7-9)

	回答数	割合
買物	5	29.4%
博物館・テーマパークなど	5	29.4%
食事	3	17.6%
街歩き・散歩	2	11.8%
観劇	1	5.9%
仕事	1	5.9%
参詣	0	0.0%
祭りやイベントの見学・参加	0	0.0%
一度は行ってみようと思った	0	0.0%
暇つぶし	0	0.0%
特になし	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	17	

9) 世代別来訪目的 (61 歳以上)

61 歳以上の層は回答者数が少なく、目的も分散したため、傾向分析は行っていない。

以上のように、中間層の 26～40 歳の層においては、上野を訪ねる主な目的は「買物」であり、若年層の 10 歳～25 歳と年配層の 41 歳以上の層において最も多い目的は「博物館・テーマパークなど」である。

上野来訪の際の同行者(来訪経験が「ある」と答えた回答者への質問)

問 1-3 上野を訪ねた際、どなたとご一緒に行きましたか？(複数回答)

上野を訪ねた際の同行者を複数回答で尋ねたところ、「友人・知人」が回答数 118 (29.9%) で最多で、次いで「親子」111 (28.2%) となり、「友人・知人」, 「親子」で全体の 6 割近くを占めている

また、それに続く「自分ひとり」55(14.0%) , 「夫婦」48 (12.2%) を合わせると 8 割以上に上り、上野を来訪時における同行者属性の多くは「友人・知人」, 「親子」, 「自分ひとり」, 「夫婦」である。

(表 3-8)

表 3-8 上野を訪ねた際の同行者

	回答数	割合
友人・知人	118	29.9%
親子	111	28.2%
自分ひとり	55	14.0%
夫婦	48	12.2%
その他家族(三世代など)	20	5.1%
恋人	14	3.6%
会社の同僚	12	3.0%
旅行会社、会社、学校などの団体旅行	12	3.0%
その他	2	0.5%
無回答	2	0.5%
合計	394	100.0%

上野来訪の際の立ち寄り場所(来訪経験が「ある」と答えた回答者への質問)

問 1-1-3 上野を訪ねた際、他に立ち寄った場所がありますか？(複数回答)

これらの回答者に、上野を訪ねた際、都内で他に立ち寄った箇所を尋ねたところ、「浅草」が最も多く、回答数 107 (27.6%) となっているが、主な目的が浅草であるのか、上野であるかはこの設問では明確にしていない。

また、2 番目に多かった回答では「特になし」が 85 (21.9%) で、上野だけを目的として来訪している人が 2 割強という結果となっている。次いで、「秋葉原」61(15.7%) , 「銀座・日比谷・丸の内」29 (7.5%) となっている(表 3-9)。

上野の場合は、問 1-1-2 の来訪目的の質問からも分かるように、ターミナル駅としての利用もあり、列車の乗り継ぎ時間を利用しての来訪者も少なくない。

表 3-9 上野を訪ねた際の立ち寄り箇所

	回答数	割合
浅草	107	27.6%
特になし	85	21.9%
秋葉原	61	15.7%
銀座・日比谷・丸の内	29	7.5%
新宿	23	5.9%
池袋	16	4.1%
谷中	12	3.1%
お台場	11	2.8%
汐留・新橋	9	2.3%
御茶ノ水	7	1.8%
その他	5	1.3%
根津・千駄木	4	1.0%
原宿	4	1.0%
恵比寿・目黒	4	1.0%
渋谷	3	0.8%
表参道	3	0.8%
六本木	2	0.5%
赤坂	1	0.3%
巣鴨	1	0.3%
自由が丘	1	0.3%
両国	0	0.0%
合計	388	100.0%

上野に行った経験が「ない」回答者への質問

一方、上野の来訪経験が「ない」と答えた回答者について分析してみたい。上野の場合は、回答者 310 名中、10 名が来訪経験はないと答えており、サンプル数としては極めて少ないため、このアンケートだけで傾向を判断することはしない。

参考値であるが、問 1 の問いで、上野に行った経験が「ない」と答えた 10 名を世代別に見ると、10～20 歳が最も多く 4 名、次いで 21～25 歳、26～30 歳がそれぞれ 2 名と、若い世代に上野を訪ねた経験がない人が多くなっている。(表 3-10)

表 3-10 上野の来訪経験が「ない」世代別人数

年齢	回答数
10～20 歳	4 人
21～25 歳	2 人
26～30 歳	2 人
36～40 歳	1 人
46～50 歳	1 人
合計	10 人

問 1-2 上野へ行ってみたいと思いますか？

表 3-11 上野への来訪希望

はい	5人
いいえ	4人
無回答	1人
合計	10人

また、上野に行った経験が「ない」と答えた 10 名に、上野へ行ってみたいかを尋ねたところ、「はい(行ってみたい)」と答えた人が 5 名、「いいえ(行きたいとは思わない)」と答えた人が 4 名、無回答が 1 名となり、上野への訪問希望は概ね半々という結果となった。(表 3-11)

分析結果：上野地区のイメージ

上野に対して回答者が持っているイメージを調査するため、「風情がある」、「にぎやかさが魅力」など 11 の質問項目について尋ねた。評価にあたっては、比較的プラスイメージを「A」、マイナスイメージを「B」とし、「A だと思う」、「ほぼ A だと思う」、「どちらかといえば A だと思う」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば B だと思う」、「ほぼ B だと思う」、「B だと思う」の 7 段階評価でとして、最もプラスイメージの評価を、最もマイナスイメージの評価をした。

また、分析にあたっては「A だと思う」、「ほぼ A だと思う」というプラスイメージの評価をした回答者の割合と、「ほぼ B だと思う」、「B だと思う」のマイナスイメージの評価をした回答者の割合に着目し、それぞれ「A だと思う」と「ほぼ A だと思う」の評価の割合が 25%を超えたもの、「ほぼ B だと思う」と「B だと思う」評価の割合が 20%を超えたものを、上野の来訪経験の有無、世代別に集計した。

詳しい質問項目と評価回答の値については、表 12-1～表 12-16 にまとめた。表中で、網掛けをした値が「A だと思う」と「ほぼ A だと思う」の評価の割合が 25%を超えたものと「ほぼ B だと思う」と「B だと思う」評価の割合が 20%を超えたものである。

問 2 上野に対してあなたが持つイメージについて、該当する数字に をしてください。

(表 3-12-1 から 3-12-16 までは巻末ページに掲載)

1) 回答者全体の評価(表 3-12-1)

まず、回答者全体では、「A だと思う」、「ほぼ A だと思う」というプラスイメージの評価(以下、良いイメージ)が 25%を超えた項目は、「風情がある」、「にぎやかさが魅力」、「文化や伝統が魅力」、「自然の多さが魅力」、「下町らしさが魅力」、「のんびりできる場所がある」、「一度は(もう一度)行きたい」の項目で、11 項目中 7 項目がプラス評価となった。中でも最も評価が高かったのが「文化や伝統が魅力」で 38.1%、次いで「のんびりできる場所がある」35.2%で評価が高くなった。また、「一度は(もう一度)行きたい」も 45.2%に上った。

しかし、反面、「上野で買いたい(買ってみたい)もの」は、マイナス評価である「ほぼ B だと思う」と「B だと思う」評価の割合(以下悪いイメージ)が 23.9%となり、

買物面では低い評価となった。また、20%を超えなかったものの「上野で行きたい飲食店や食べたいもの」も「悪いイメージ」が19.7%と食事に関しても評価が低い。

2) 上野の来訪経験の有無別 (表 3-12-2、3-12-3)

来訪経験の有無別では、来訪経験のない回答者数が少ないため、回答者全体の評価との顕著な違いは生じていない。ただし、来訪経験のない回答者層では回答が「どちらかといえばAだと思う」、「どちらともいえない」、「どちらかといえばBだと思う」の中間評価に集中し、プラス・マイナスどちらにも強いイメージは持っていないことが分かる。

3) 10~20歳代 (表 3-12-4)

この層で、「良いイメージ」が25%を超えた項目は、「のんびりできる場所がある」37.8%、「物価は良心的」28.9%、「一度は(もう一度)行きたい」51.1%の3項目に止まったが、「一度は(もう一度)行きたい」は全体より高い51.1%がプラスの評価をしている。反対にマイナス評価で「悪いイメージ」が20%を超えたものは、「行きたい飲食店や食べたいもの」26.7%、「買いたい(買ってみたい)もの」が22.7%で低い評価となっている。

4) 21~25歳 (表 3-12-5)

この層で「良いイメージ」が25%を超えた項目は、「文化や伝統が魅力」31.9%、「風情がある」30.6%、「のんびりできる場所がある」29.2%、「自然の多さが魅力」26.4%、「一度は(もう一度)行きたい」38.9%の4項目となった。反対に「悪いイメージ」が20%を超えたものは、「買いたい(買ってみたい)もの」が30.6%「行きたい飲食店や食べたいもの」29.2%、で低い評価となっている。また、「一度は(もう一度)行きたい」のプラス評価は全体より低い38.9%。

5) 26~30歳 (表 3-12-6)

この層で「良いイメージ」が25%を超えた項目は6項目で、「文化や伝統が魅力」45.0%、「のんびりできる場所がある」40.0%、「風情がある」35.0%、「にぎやかさが魅力」と「行きたい飲食店や食べたいもの」がいずれも25.0%、「一度は(もう一度)行きたい」は全体よりやや高い50.0%。反対に「悪いイメージ」が20%を超えたものは、「買いたい(買ってみたい)もの」が40.0%「行きたい飲食店や食べたいもの」25.0%となっている。

6) 31~35歳 (表 3-12-7)

この層で「良いイメージ」が25%を超えた項目は6項目で、「のんびりできる場所がある」37.9%、「にぎやかさが魅力」31.0%、「文化や伝統が魅力」と「自然の多さが魅力」がいずれも27.6%、「一度は(もう一度)行きたい」は全体より低い37.9%。反対に「悪いイメージ」が20%を超えたものは「せわしない場所」で20.7%がマイナスの評価をしている。

7) 36～40歳(表 3-12-8)

この層で「良いイメージ」が25%を超えた項目は8項目で、「文化や伝統が魅力」53.7%、「風情がある」と「のんびりできる場所がある」がいずれも41.5%、「下町らしさが魅力」39.0%、「自然の多さが魅力」31.7%、「にぎやかさが魅力」と「行きたい飲食店や食べたいもの」がいずれも29.3%となっている。「一度は(もう一度)行きたい」は全体より高い58.5%。この層でマイナス評価の「悪いイメージ」が20%を超えたものはなかった。

8) 41～45歳(表 3-12-9)

この層で「良いイメージ」が25%を超えた項目は9項目で、世代別では最もプラス評価が高い結果となった。「良いイメージ」が25%を超えたのは、「文化や伝統が魅力」55.0%、「風情がある」50.0%、「にぎやかさが魅力」と「のんびりできる場所がある」いずれも45.0%、「自然の多さが魅力」と「下町らしさが魅力」が35.0%、「買いたい(買ってみたい)もの」25.0%となった。「一度は(もう一度)行きたい」は全体でも最も高い75.0%。反対にマイナス評価の「悪いイメージ」が20%を超えたものは、「買いたい(買ってみたい)もの」が35.0%「行きたい飲食店や食べたいもの」25.0%となっている。

9) 46～50歳(表 3-12-10)

この層で「良いイメージ」が25%を超えた項目は6項目で、「文化や伝統が魅力」34.8%、「自然の多さが魅力」30.4%、「風情がある」、「にぎやかさが魅力」、「物価は良心的」がいずれも26.1%、「一度は(もう一度)行きたい」は全体よりやや低い43.5%。しかし、この層でマイナス評価の「悪いイメージ」が20%を超えた項目はなかった。

10) 51～55歳(表 3-12-11)

この層で「良いイメージ」が25%を超えた項目は8項目で、「文化や伝統が魅力」57.1%、「のんびりできる場所がある」38.1%、「にぎやかさが魅力」、「下町らしさが魅力」、「物価は良心的」がいずれも33.3%、「風情がある」と「行きたい飲食店や食べたいもの」28.6%となっている。「一度は(もう一度)行きたい」は全体よりやや高い47.6%。この層でマイナス評価の「悪いイメージ」が20%を超えた項目はなかった。

11) 56～60歳(表 3-12-12)

この層で「良いイメージ」が25%を超えた項目は3項目で、「にぎやかさが魅力」、「文化や伝統が魅力」、「行きたい飲食店や食べたいもの」がいずれも30.8%となっている。反対にマイナス評価の「悪いイメージ」が20%を超えたのは、「買いたい(買ってみたい)もの」が30.8%、「街並みや雰囲気が古くさい」、「物価が高い」でいずれも23.1%がマイナス評価となった。

12) 61歳以上(表 3-12-13、3-12-14、3-12-15、3-12-16)

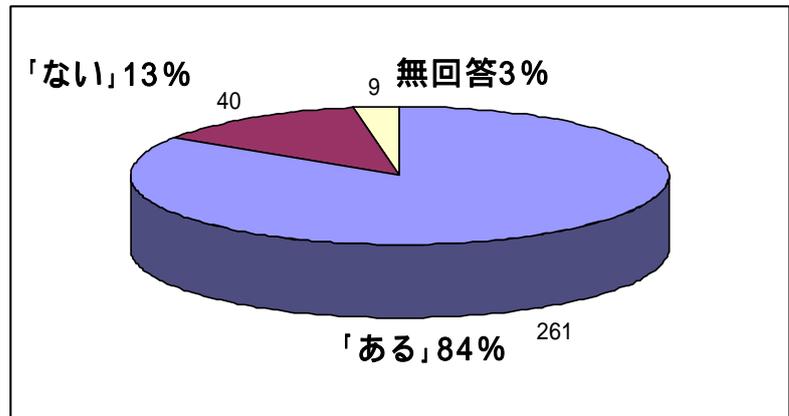
この層はサンプル数が少ないため、傾向の分析は避けたい。調査データのみ表 3-12-13～表 12-16 に掲載する。

2-2. 浅草地区について

浅草の来訪経験

問3 浅草に行ったことがありますか？

図 3-2 浅草に行った経験の有無



「浅草に行ったことがあるか」を尋ねたところ、「ある」と答えた人が 310 名中 261 名で全体の 84%、「ない」と答えたのは 40 名で 13%、無回答が 9 名で 3%という結果となった。

* 「数十回」の回答は 21～30 回、「数回」の場合は 2～5 回でカウントした。

浅草の来訪回数(来訪経験が「ある」と答えた回答者への質問)

問 3-1 「ある」と答えた場合、今までに何回程度、浅草に行ったことがありますか？

表 3-13 これまでに浅草に行った回数

浅草に行った経験の有無に関する質問で、「ある」と答えた 261 名に、これまでに浅草に行ったことのある回数を尋ねたところ、「2～5 回」が 105 名 (40.2%) と最も多く、次いで「1 回」と「6～10 回」が 43 名 (21.3%)、「100 回以上」32 名 (16.5%) となる。

「1 回」と「2～5 回」を合わせると 148 名 (56.7%) に上り、半数以上が浅草への来訪経験は 5 回以下であることが分かる。しかし、一方で、100 回以上と答えた人も 12 名 (4.6%) である(表 3-13)。

訪問回数	回答数	割合
1 回	43	16.5%
2～5 回	105	40.2%
6～10 回	43	16.5%
11～20 回	16	6.1%
21～30 回	13	5.0%
31～40 回	1	0.4%
41～50 回	6	2.3%
51～60 回	2	0.8%
61～70 回	3	1.1%
71～80 回	1	0.4%
81～90 回	0	0.0%
91～99 回	0	0.0%
100 回以上	12	4.6%
無回答	16	6.1%
合計	261	100.0%

問 3-1-1 そのうち、この1年間の訪問は何回ですか？

表 3-14 この1年間の訪問回数

浅草に行った経験が「ある」と答えた261名にさらに、そのうち、この1年間で浅草を訪ねた回数を聞いたところ、「0回」が101名(38.7%)で最も多く、次いで、「1回」の78名(29.2%)、「2回」27名(10.3%)である。

こうした結果を見ると、浅草に行った経験は全体の8割以上の人があるものの、この1年間では全く訪れていない人も4割近くに上る。しかし、反面、1年以内に1~2回程度訪れた人もまた約4割を占めているということが分かる(表 3-14)。

訪問回数	回答数	割合
0回	101	38.7%
1回	78	29.9%
2回	27	10.3%
3回	10	3.8%
4回	2	0.8%
5回	10	3.8%
6回	2	0.8%
7回	0	0.0%
8回	1	0.4%
9回	0	0.0%
10回以上	12	4.6%
無回答	18	6.9%
合計	261	100.0%

浅草の来訪目的(来訪経験が「ある」と答えた回答者への質問)

問 3-1-2 浅草を訪ねた主な目的は何ですか？(複数回答)

浅草に行った経験が「ある」と答えた回答者に、浅草を訪ねた主な目的を複数回答で尋ねたところ、「参詣」125名(32.5%)最多で、次いで「街歩き・散歩」が95(24.7%)となっており、この2つの目的で全体の6割近くを占める。次いで「買物」49名(12.7%)、「食事」31名(8.1%)という順になった(表 3-15-1)。

表 3-15-1 浅草を訪ねた主な目的

目的	回答数	割合
参詣	125	32.5%
街歩き・散歩	95	24.7%
買物	49	12.7%
食事	31	8.1%
博物館・テーマパークなど	16	4.2%
祭りやイベントの見学・参加	30	7.8%
観劇など	7	1.8%
一度は行ってみようと思った	9	2.3%
暇つぶし	5	1.3%
仕事	13	3.4%
特になし	1	0.3%
その他*	4	1.0%
合計	385	100.0%

* 修学旅行・社会科見学2、花見1、JRA1

これを世代別で集計したが、世代による訪問目的大きな違いなく、いずれの世代も上位は「参詣」、「街歩き・散歩」、「食事」となった。しかし、10～20歳代で「祭りやイベントの参加・見学」がやや多く、30～40歳代で「買物」の数がやや多くなった(表3-15-2～表3-15-10)。61歳以上の層は回答者数が少ないため、傾向分析は行っていない。

表 3-15-2 浅草を訪ねた目的
【10～20歳】

目的	回答数	割合
参詣	12	27.3%
街歩き・散歩	10	22.7%
祭りやイベントの見学・参加	6	13.6%
買物	5	11.4%
博物館・テーマパークなど	4	9.1%
一度は行ってみようと思った	3	6.8%
食事	2	4.5%
観劇など	1	2.3%
その他(修学旅行)	1	2.3%
暇つぶし	0	0.0%
仕事	0	0.0%
特になし	0	0.0%
合計	44	

表 3-15-3 浅草を訪ねた目的
【21～25歳】

目的	回答数	割合
参詣	25	34.7%
街歩き・散歩	16	22.2%
食事	7	9.7%
祭りやイベントの見学・参加	5	6.9%
買物	4	5.6%
博物館・テーマパークなど	4	5.6%
一度は行ってみようと思った	4	5.6%
暇つぶし	3	4.2%
観劇など	2	2.8%
仕事	1	1.4%
その他(社会見学)	1	1.4%
特になし	0	0.0%
合計	72	

表 3-15-4 浅草を訪ねた目的
【26～30歳】

目的	回答数	割合
参詣	6	21.4%
街歩き・散歩	6	21.4%
買物	6	21.4%
食事	2	7.1%
博物館・テーマパークなど	2	7.1%
祭りやイベントの見学・参加	2	7.1%
その他(花見、JRA)	2	7.1%
暇つぶし	1	3.6%
仕事	1	3.6%
観劇など	0	0.0%
一度は行ってみようと思った	0	0.0%
特になし	0	0.0%
合計	28	

表 3-15-5 浅草を訪ねた目的
【31～35歳】

目的	回答数	割合
参詣	12	30.0%
街歩き・散歩	11	27.5%
買物	5	12.5%
祭りやイベントの見学・参加	4	10.0%
仕事	3	7.5%
博物館・テーマパークなど	2	5.0%
食事	1	2.5%
一度は行ってみようと思った	1	2.5%
特になし	1	2.5%
観劇など	0	0.0%
暇つぶし	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	40	

表 3-15-6 浅草を訪ねた目的
【36～40歳】

目的	回答数	割合
参詣	18	31.0%
街歩き・散歩	16	27.6%
買物	11	19.0%
食事	6	10.3%
祭りやイベントの見学・参加	3	5.2%
観劇など	2	3.4%
博物館・テーマパークなど	1	1.7%
暇つぶし	1	1.7%
一度は行ってみようと思った	0	0.0%
仕事	0	0.0%
特になし	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	58	

表 3-15-7 浅草を訪ねた目的
【41～45歳】

目的	回答数	割合
参詣	10	35.7%
買物	9	32.1%
街歩き・散歩	4	14.3%
祭りやイベントの見学・参加	2	7.1%
食事	1	3.6%
一度は行ってみようと思った	1	3.6%
仕事	1	3.6%
博物館・テーマパークなど	0	0.0%
観劇など	0	0.0%
暇つぶし	0	0.0%
特になし	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	28	

表 3-15-8 浅草を訪ねた目的
【46～50歳】

目的	回答数	割合
参詣	13	46.4%
街歩き・散歩	7	25.0%
買物	2	7.1%
祭りやイベントの見学・参加	2	7.1%
食事	1	3.6%
博物館・テーマパークなど	1	3.6%
観劇など	1	3.6%
仕事	1	3.6%
一度は行ってみようと思った	0	0.0%
暇つぶし	0	0.0%
特になし	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	28	

表 3-15-9 浅草を訪ねた目的
【51～55歳】

目的	回答数	割合
参詣	13	36.1%
街歩き・散歩	12	33.3%
買物	4	11.1%
食事	3	8.3%
博物館・テーマパークなど	2	5.6%
祭りやイベントの見学・参加	1	2.8%
仕事	1	2.8%
観劇など	0	0.0%
一度は行ってみようと思った	0	0.0%
暇つぶし	0	0.0%
特になし	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	36	

表 3-15-10 浅草を訪ねた目的
【56～60歳】

目的	回答数	割合
参詣	6	30.0%
街歩き・散歩	5	25.0%
食事	5	25.0%
仕事	2	10.0%
買物	1	5.0%
祭りやイベントの見学・参加	1	5.0%
博物館・テーマパークなど	0	0.0%
観劇など	0	0.0%
一度は行ってみようと思った	0	0.0%
暇つぶし	0	0.0%
特になし	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	20	

表 3-15-12 浅草を訪ねた目的
【66～70歳】

目的	回答数	割合
仕事	2	33.3%
参詣	1	16.7%
街歩き・散歩	1	16.7%
食事	1	16.7%
祭りやイベントの見学・参加	1	16.7%
買物	0	0.0%
博物館・テーマパークなど	0	0.0%
観劇など	0	0.0%
一度は行ってみようと思った	0	0.0%
暇つぶし	0	0.0%
特になし	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	6	

表 3-15-11 浅草を訪ねた目的
【61～65歳】

目的	回答数	割合
参詣	5	41.7%
街歩き・散歩	3	25.0%
祭りやイベントの見学・参加	2	16.7%
買物	1	8.3%
食事	1	8.3%
博物館・テーマパークなど	0	0.0%
観劇など	0	0.0%
一度は行ってみようと思った	0	0.0%
暇つぶし	0	0.0%
仕事	0	0.0%
特になし	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	12	

表 3-15-13 浅草を訪ねた目的
【71～74歳】

目的	回答数	割合
参詣	3	50.0%
街歩き・散歩	1	16.7%
祭りやイベントの見学・参加	1	16.7%
仕事	1	16.7%
買物	0	0.0%
食事	0	0.0%
博物館・テーマパークなど	0	0.0%
観劇など	0	0.0%
一度は行ってみようと思った	0	0.0%
暇つぶし	0	0.0%
特になし	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	6	

浅草来訪の際の同行者(来訪経験が「ある」と答えた回答者への質問)

問3-3 浅草を訪ねた際、どなたとご一緒に行きましたか？(複数回答)

浅草を訪ねた際の同行者を複数回答で尋ねたところ、「親子」が回答数95(29.2%)で最多で、次いで「友人・知人」78(24.0%)となっており、「友人・知人」、「親子」で全体の半数以上を占めている。

また、それに続く「夫婦」50(15.4%)、「自分ひとり」36(11.1%)を合わせると8割近くに上り、上野を来訪する際、同行者属性の多くは「親子」、「友人・知人」、「夫婦」、「自分ひとり」であることが分かる

(表3-16)。

表3-16 浅草を訪ねた際の同行者

同行者	回答数	割合
親子	95	29.2%
友人・知人	78	24.0%
夫婦	50	15.4%
自分ひとり	36	11.1%
その他家族(三世代など)	28	8.6%
恋人	18	5.5%
会社の同僚	12	3.7%
旅行会社、会社、学校などの団体旅行	6	1.8%
その他	2	0.6%
無回答	0	0.0%
合計	325	100.0%

浅草来訪の際の立ち寄り場所(来訪経験が「ある」と答えた回答者への質問)

問3-4 浅草を訪ねた際、他に立ち寄った場所がありますか？(複数回答)

これらの回答者に、浅草を訪ねた際、都内で他に立ち寄った箇所を複数回答で尋ねたところ、「上野」が最も多く、回答数78(28.2%)となっている。

また、次に多い回答は「特になし」が77(27.8%)で、浅草だけを目的として来訪している人が3割弱という結果となっている。次いで、「秋葉原」19(6.9%)、「銀座・日比谷・丸の内」18(6.5%)の順となっている(表3-17)。こうした結果を見ても、上野に来訪の際の立ち寄り先とほとんど差異は無い。

表 3-17 浅草を訪ねた際の立ち寄り箇所

立ち寄り箇所	回答数	割合
上野	78	28.2%
特になし	77	27.8%
無回答	24	8.7%
秋葉原	19	6.9%
銀座・日比谷・丸の内	18	6.5%
池袋	11	4.0%
新宿	9	3.2%
その他	8	2.9%
渋谷	6	2.2%
お台場	6	2.2%
原宿	5	1.8%
汐留・新橋	5	1.8%
谷中	2	0.7%
根津・千駄木	2	0.7%
巣鴨	2	0.7%
表参道	1	0.4%
六本木	1	0.4%
御茶ノ水	1	0.4%
自由が丘	1	0.4%
両国	1	0.4%
赤坂	0	0.0%
恵比寿・目黒	0	0.0%
合計	277	100.0%

浅草に行った経験が「ない」回答者への質問

一方、浅草の来訪経験が「ない」と答えた回答者について分析してみたい。浅草の場合は、回答者 310 名中、40 名が来訪経験ないと答えており、サンプル数としては極めて少ないため、このアンケートだけで傾向を判断することはできないが、参考値としては利用できるだろう。

まず、問 3 の問いで、浅草に行った経験が「ない」と答えた 40 名を世代別に見ると、21～25 歳が最も多く 19 名、次いで 10～20 歳 12 名、36～40 歳が 4 名と、比較的若い世代に浅草を訪ねた経験がない人が多くなっている。(表 3-18)

表 3-18 浅草の来訪経験が「ない」世代別人数

年齢層	回答数
10～20 歳	12
21～25 歳	19
26～30 歳	1
31～35 歳	1
36～40 歳	4
46～50 歳	2
無回答	1
合計	40

問3-2 浅草へ行ってみたいと思いますか？

表 3-19 浅草への来訪希望

	回答数	割合
はい	29人	72.5%
いいえ	7人	17.5%
無回答	4人	10.0%
合計	40人	

また、浅草に行った経験が「ない」と答えた40名に、浅草へ行ってみたいかを尋ねたところ、「はい(行ってみたい)」と答えた人が29名(72.5%)で、「いいえ(行きたくないとは思わない)」と答えた人が7名(17.5%)を大きく上回った。(表 3-19)

浅草のイメージ

調査と分析については、上野と同様の方法で行った。浅草に関する詳しい質問項目と評価回答の値については、表 3-20-1～16 にまとめた。

問4 浅草に対してあなたが持つイメージについて、該当する数字に をしてください。(表 3-20-1 から 3-20-16 までは巻末ページに掲載)

1) 回答者全体の評価(表 3-20-1)

回答者全体では、「Aだと思ふ」、「ほぼAだと思ふ」というプラスイメージの評価(以下、良いイメージ)が25%を超えた項目は、「風情がある」、「にぎやかさが魅力」、「文化や伝統が魅力」、「行きたい飲食店や食べたいもの」、「街並みや雰囲気魅力的」、「地元の人がフレンドリー」、「下町らしさが魅力」、「浅草の祭りやイベントが観たい」、「一度は(もう一度)行きたい」の項目で、11項目中9項目がプラス評価となった。中でも最も評価が高かったのが「風情がある」で72.3%、次いで、「文化や伝統が魅力」で70.6%、「下町らしさ」62.6%の順となった。また、「一度は(もう一度)行きたい」も60.6%に上った。

マイナス評価である「ほぼBだと思ふ」と「Bだと思ふ」評価の割合(以下、悪いイメージ)が20%を超えたものはなかったものの「浅草で買いたいもの」については「悪いイメージ」が15.5%とやや低い。

2) 浅草の来訪経験の有無別(表 3-20-2、3-20-3)

来訪経験の有無別では、回答者全体の評価と大きな差異はないものの、全体として来訪経験がある回答者数の評価の方が高くなっている。特に「風情がある」の項目では、来訪経験がある回答者の「良いイメージ」のプラス評価が75.5%であるのに対し、来訪経験のない回答者では57.5%と18ポイントも低い結果である。

3) 10～20 歳代 (表 3-20-4)

この層で、「良いイメージ」が 25%を超えた項目は 8 項目で、最も高かったのは「文化や伝統が魅力」の 75.6%、次いで「街並みや雰囲気」で 66.7%、「風情がある」、「下町らしさ」、「祭りやイベント」がいずれも 64.4%となっている。「一度は(もう一度)行きたい」も全体よりやや高い 62.2%がプラスの評価をしているが、反対にマイナス評価で「悪いイメージ」が 20%を超えたものは、「買いたい(買ってみたい)もの」で 20.0%がマイナスの評価となっている。

4) 21～25 歳 (表 3-20-5)

この層で「良いイメージ」が 25%を超えた項目は 9 項目で、「風情がある」84.7%が最も高く、次いで「文化や伝統が魅力」81.9%、「下町らしさ」73.6%の順となっている。反対に「悪いイメージ」が 20%を超えたものは、「買いたい(買ってみたい)もの」で 22.2%がマイナス評価となっている。また、「一度は(もう一度)行きたい」のプラス評価は全体より高い 68.1%。

5) 26～30 歳 (表 3-20-6)

この層で「良いイメージ」が 25%を超えた項目は 8 項目で、「風情がある」85.0%が最も高く、次いで「祭りやイベント」80.0%、「文化や伝統が魅力」と「下町らしさ」いずれも 75.0%の順となっている。反対に「悪いイメージ」が 20%を超えたものは、「買いたい(買ってみたい)もの」で 20.0%がマイナス評価となっている。また、「一度は(もう一度)行きたい」のプラス評価は全体より低く 55.0%である。

6) 31～35 歳 (表 3-20-7)

この層で「良いイメージ」が 25%を超えた項目は 8 項目で、「風情がある」79.3%が最も高く、次いで「文化や伝統が魅力」が 75.9%、「下町らしさ」と「祭りやイベント」がいずれも 65.5%の順となっている。「一度は(もう一度)行きたい」は全体より低い 58.6%。「悪いイメージ」が 20%を超えたものはない。

7) 36～40 歳 (表 3-20-8)

この層で「良いイメージ」が 25%を超えた項目は 9 項目で、「風情がある」73.2%が最も高く、次いで「文化や伝統が魅力」が 70.7%、「下町らしさ」96.3%の順となっている。「一度は(もう一度)行きたい」は全体より高い 73.2%。この層でマイナス評価の「悪いイメージ」が 20%を超えたものはない。

8) 41～45 歳 (表 3-20-9)

この層では、全項目について「良いイメージ」が 25%を超え、世代別では最もプラス評価が高い結果となった。特に高かったのは、「風情がある」85.0%、「文化や伝統が魅力」と「下町らしさ」が 80.0%、「にぎやかさ」と「街並みや雰囲気」いずれも 75.0%となった。「一度は(もう一度)行きたい」も世代別で最も高い全体より高い 80.0%。この層でマイナス評価の「悪いイメージ」が 20%を超えたものはない。

9) 46～50歳(表3-20-10)

この層で「良いイメージ」が25%を超えた項目は9項目で、「風情がある」と「文化や伝統が魅力」が最も高くいずれも65.2%、次いで、「にぎやかさ」と「街並みや雰囲気」でいずれも60.9%となった。「一度は(もう一度)行きたい」は全体よりやや高い65.2%。この層でマイナス評価の「悪いイメージ」が20%を超えた項目はない。

10) 51～55歳(表3-20-11)

この層で「良いイメージ」が25%を超えた項目は10項目で、「風情がある」と「文化や伝統が魅力」が最も高くいずれも66.7%、次いで、「にぎやかさ」61.9%、「下町らしさ」と「祭りやイベント」がいずれも52.4%、となっている。「一度は(もう一度)行きたい」は全体とほぼ同じ61.9%。この層でマイナス評価の「悪いイメージ」が20%を超えた項目はない。

11) 56～60歳(表3-20-12)

この層で「良いイメージ」が25%を超えた項目は6項目で、「風情がある」が69.2%で最も高く、次いで、「にぎやかさが魅力」と「文化や伝統が魅力」がいずれも46.2%、「祭りやイベント」が38.5%となっている。この層でマイナス評価の「悪いイメージ」が20%を超えた項目はなかったが、「一度は(もう一度)行きたい」のプラス評価が38.5%と全体より低い。

12) 61歳以上(表3-20-13、3-20-14、3-20-15、3-20-16)

この層はサンプル数が少ないため、傾向の分析は避けたい。調査データのみ表3-20-13～16に掲載した。

2-3. 普段の日帰りのお出掛けについて

アンケートの回答者に対し、上野・浅草以外の都内への日帰りの遊びや買物の状況について調査した。

よく遊びに出掛ける場所とその理由

都内の日帰りの遊びでは、「新宿」が最も多く回答数 102、次いで「池袋」(回答数 86)、「銀座・日比谷・丸の内」(回答数 59)の順となった。「上野」(回答数 42)は 5 番目、「浅草」(回答数 40)は 6 番目にあがっている。

問 4-1 あなたが東京都内で、よく観光や遊びに出掛ける場所を 2 つ選択してください。

表 3-21 都内でよく観光や遊びに出掛ける場所

行き先	回答数
新宿	102
池袋	86
銀座・日比谷・丸の内	59
お台場	49
上野	42
浅草	40
原宿	38
渋谷	36
秋葉原	29
その他	17
特になし	15
汐留・新橋	11
六本木	9
恵比寿・目黒	8
表参道	5
御茶ノ水	5
自由が丘	5
赤坂	3
巣鴨	3
谷中	1
根津・千駄木	1
両国	1
無回答	1

* 「その他」回答には、亀有、八王子、後樂園、錦糸町、立川、吉祥寺、北千住、大森、三鷹などがあがった。

問 4-2 その場所のどんなところが好きかをお答えください。

また、問 4-1 でよく行く場所の好きな理由を尋ねたところ、「交通アクセスがいい」が回答数 112 で最も多く、次いで、「飲食店以外の好きな店がある」(回答数 107)、「好きな飲食店がある」(回答数 82)の順となった。

表 3-22 日帰りでよく行く場所の好きな理由

好きな理由	回答数
交通アクセスがいい	112
飲食店以外の好きな店がある	107
好きな飲食店がある	82
設備や店舗が充実	76
雰囲気がいい	39
人気・話題性がある	38
一箇所に色々揃っている	29
行きたいイベントが多い	14
安上がり	13
特になし	11
のんびりできる	6
その他	4
無回答	15

よく買物に出掛ける場所

普段、食材以外の買物でよく出掛ける場所を尋ねたところ、最も多かったのが「新宿」で回答数 98、ほぼ同数であがったのが「池袋」(回答数 94) 次いで、「銀座・日比谷・丸の内」(回答数 55)となった。この数字は、問 4-1 の遊びに行く場所と大きな差異はない。

「上野」(回答数 25)は 8 番目、「浅草」(回答数 14)は 11 番目にあがっている。

問5 あなたが東京都内で、よくショッピングに出掛ける場所を2つ選択してください。

表 3-23 よく行く買物場所

場所	回答数
新宿	98
池袋	94
銀座・日比谷・丸の内	55
特になし	42
渋谷	41
秋葉原	39
原宿	39
上野	25
その他	19
お台場	18
浅草	14
表参道	14
六本木	8
汐留・新橋	5
巣鴨	2
御茶ノ水	2
自由が丘	1
谷中	0
根津・千駄木	0
赤坂	0
恵比寿・目黒	0
両国	0

* 「その他」には川崎、錦糸町、立川、吉祥寺、後樂園、北千住、日本橋、町田などがあがった。

日帰りの遊びや買物の同行者

また、普段、日帰りで出掛ける遊びや買物の同行者で多いパターンを尋ねたところ、「友人・知人」(回答数 115)と「親子」(回答数 102)が最も多い結果となった。次いで、「夫婦」(回答数 63)、「自分ひとり」(回答数 41)などがあがっている。

問6 日帰りのお出掛けは誰と行くことが多いですか？

表 3-24 日帰りのお出掛けの同行者

同行者	回答数
友人・知人	115
親子	102
夫婦	63
自分ひとり	41
恋人	21
その他家族(三世代など)	11
会社の同僚	7
旅行会社、会社、学校などの団体旅行	1
その他	0
無回答	7

日帰りの遊びや買物の情報収集

さらに、日帰りで出掛ける遊びや買物の際、行き先を決めるのに役立つと思う情報源を尋ねたところ、「インターネット(パソコンで)」が最も多く、回答数 99、次いで、「ガイドブック」(回答数 46)、「知り合いの口コミ」(回答数 44)、「テレビ・ラジオ」(回答数 42)がほぼ同数であった。

問7 日帰りのお出掛けの際、行き先を決めるのに最も役立つのは何ですか？

表 3-25 日帰りのお出掛けの情報源

情報源	回答数
インターネット(パソコンで)	99
ガイドブック	46
知り合いの口コミ	44
テレビ・ラジオ	43
新聞・雑誌	42
特に何も無い	39
ポスター・チラシ	28
旅行専門誌	15
インターネット(携帯電話で)	11
観光案内所	3
旅行会社	1
その他	0
無回答	8

3. まとめ（出発地側）

3-1 来訪目的について

浅草の来訪目的で最多は全ての世代を通じて「参詣」であり、上野は、「博物館・テーマパークなど」が最多であった。しかし26～40歳の世代では「買物」が逆転し1位となった。

3-2 イメージの評価について

上野、浅草の地区別、世代別でイメージ評価に差が生じる。

全体に高い浅草の評価

浅草地区のイメージは全体にいずれの世代でも高く、質問項目11項目中半数以上の項目が良いイメージ評価になった。特に41～45歳の世代では、全ての項目がプラス評価となっている。これは、上野地区で、10歳～25歳世代のプラス評価の項目が、11項目中半数以下であるのに比較して、浅草地区には、全世代を通じてプラスのイメージを持っている人が多いことが分かる。

30～40代で高い評価

上野・浅草地区とも26～55歳の世代で、プラスの評価項目が多い結果となった。特に36～45歳の世代では、両地区とも他の世代に比べプラスの評価項目が多く、また、マイナス評価が高くなった項目はこの世代にはなかった。どちらの地区も36～45歳の世代で特に良いイメージを持っている人が多いといえる。反対に、上野・浅草地区とも56歳以上の年配層では比較的評価が低い結果である。

3-3. 全体の遊びの目的と上野・浅草地区の現状について

調査の中で尋ねた、よく遊びに行く場所の好きな理由では、「交通アクセスがいい」、「飲食店以外の好きな店がある」、「好きな飲食店がある」がトップ3にあがっていた。しかし、イメージ調査の中では、上野・浅草地区とも「行きたい飲食店や食べたいもの」、「買いたい(買ってみたい)もの」の評価が最も低い結果となっており、多くの人が遊びに行く際に重視する「食事」、「買物」のイメージに課題があることが分かる。

以上